

## 5 めざそう 買い物名人

## 教師用指導例

5年 東書版 p.26～27

めあて 計画的な買い物ができるようになるう。

【学習指導要領との関連】内容 D 身近な消費生活と環境

(1) 物や金銭の使い方と買物について、次の事項を指導する。

ア 物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えること。

イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

## 1 課題を見つける ……………

説明 1 前の時間では、「買い物の手順」を学習しました。今日は品物を選ぶときに必要なことを考えます。

発問 1 ノートを買に行くと行くという計画を立てます。4冊のノートから1冊を選ぶとしたらどれを選びますか。

※実物を提示して、4冊のノートを紹介する。

ア リングノート

イ キャラクターノート

ウ 3冊セット

エ いつも使っているノート

※直感でいいので手を挙げさせ、見た目だけの情報では決められないことに気づかせる。

※買う物の設定については、学校や地域の状況に応じて変更ください。

## 2 課題を追究する ……………

発問 2 見た目以外に、どんなことが分からないと決められませんか。

(「値段」, 「ページ数」, 「何に使うか」, 「使いやすさ」 ……)

説明 2 値段から見てみます。

※子どもに予想させながら板書する。

ア 140円

イ 150円

ウ 200円

エ 180円

※再度どれを選ぶか聞き、これだけでは決められないことに気づかせる。

※値段と同様に、何に使うか、ページ数についても確認していく。

ア 140円 64ページ

イ 150円 80ページ

ウ 200円 1冊64ページ

エ 180円 64ページ

説明 3 ノートを使う目的は、算数の学習に限定します。

説明 4

算数ノートとしての使いやすさを見るために、実際にノートを見てもらいます。見た後に、どのノートを買うのか、なぜそれを選んだのか、発表してもらいます。

※実際に手に取らせて、隣同士で自由に話し合わせる。

指示 1

家庭科楽習ノートの26ページを開きます。「①目的を確かめる」～「③比べて考える」を記入します。選んだノートの記号と選んだ理由が書けたら、先生のところに見せに来ます。

※ノートの特徴を表にまとめる。

※書けたら前に持ってこさせ、書いた内容に赤丸をつけ、黒板前に並べて待たせておく。

## 3 討論する(発表) 4 異なる考えを認める ……………

指示 2

それでは黒板の前に出て発表してもらいます。「○○のノートを選びました。○○○○だからです。」のように発表します。

(・アのノートを選びました。リングノートはノートが開きやすいからです。

・イのノートを選びました。表紙や中のノートにイラストが入っていて、可愛いからです。

・ウのノートを選びました。算数はたくさんノートを使うので、1冊あたりの値段が安いほうがよいからです。

・エのノートを選びました。紙質がよいし、方眼が入っていて計算しやすいと思ったからです。)

※例として、次のように教師の考えを示してもよい。

「先生はエのノートを選びました。算数の学習に使うという目的を考えると、エのノートは方眼になっていて、図やグラフが書きやすいからです。」

## 5 まとめる ……………

説明 5

買い物の際に優先することは、使う目的や人の好みによってもさまざまです。どのノートを選ぶか、正解はありません。ただ、よりよい品物を買うために、値段や量、品質、機能、環境への配慮がされているかなど、情報をよく確かめましょう。

## 板書の例

	値段	ページ数	ノートを使う目的
ア	140円	64ページ	算数の学習
イ	150円	80ページ	
ウ	200円	1冊64ページ	
エ	180円	64ページ	

6

物を生かして 住みやすく

教師用指導例

5年 東書版 p.29

めあて 整理・整とん，そうじをやってみよう。

【学習指導要領との関連】 内容C 快適な衣服と住まい  
(2) 快適な住まい方について，次の事項を指導する。  
ア 住まい方に関心をもって，整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

1 課題を見つける

- 説明 1
- 前の時間では，物が散らかったままで困ることや，散らかる理由を考えました。今日は実際に整理・整とんをしてみます。道具箱の中の物を分類して，物の置き場所を考えます。
- 発問 1
- 道具箱の中身を分類します。まず何と何に分けますか。  
(指名し、ノート p.29「①調べよう」を確認する。)
- 発問 2
- 【使う物】，【使わない物】，【迷う物】に分けますね。(板書する。)
- 発問 3
- 【使わない物】はどのようにしたらよいですか。お隣さんと相談しましょう。  
(「処分する」「再使用する」……)
- 発問 4
- 整理・整とんのポイントは何ですか。
- 指示 1
- ノートで4つのポイントが書いてあるところを指でおさえなさい。  
(4つを板書する。)
- 説明 2
- このような手順で整理・整とんをしていきます。

2 課題を追究する

- 指示 2
- 机の中にある道具箱を出します。  
※ふた付きのボックスタイプや，引き出しタイプの道具箱など，学校で児童が使う物を想定する。
- 指示 3
- 道具箱の中に何が入っているか，中の物をすべて机に出して確認します。  
※たくさんの物を道具箱に詰め込んでいたことをおさえる。
- 指示 4
- 【使う物】，【使わない物】，【迷う物】に分けてごらんください。  
※【分類表】(別紙 PDF①)を下に敷いて分類することもできます。
- 発問 4
- 【使わない物】にはどんな物がありましたか。  
(短くなった鉛筆，小さくなった消しゴム，インクの切れたサインペン，紙ごみ……)  
※消しゴムなど，同じような物を無駄に買い足していないか，確認する。
- 発問 5
- 【使わない物】はどのように処分したり，再使用したりするとよいですか。  
(短くなった鉛筆は，ホルダーを付ける，紙ごみは分別して出す……)  
※すぐに処分するのではなく，リユースしたり，資源として生かしたりする方法を考えさせる。  
▲教科書 p.50「3物を生かしてごみを減らそう」
- 説明 3
- 学校の引き出しとして使いやすくするために，道具箱の仕切り方を工夫します。  
【仕切りの入った紙】(別紙 PDF②)の上に【使う物】を置いてみて，置き場所を考えます。
- 指示 5
- 道具箱を整理・整とんのポイントにしたがって，使いやすくしてごらんください。

- 説明 4
- 整理・整とんが終わったら，道具箱を使いやすくするために，どこをどうしたのか，なぜそうしたのかを発表してもらいます。  
※自由ノートに記入することができます。

3 討論する 4 異なる考えを認める

- 指示 6
- それでは，黒板の前に出て発表してもらいます。「私はこのように整理・整とんしました。工夫したところは〇〇です。わけは〇〇だからです。」のように発表します。  
(・よく使う物を手前に置きました。取り出しやすくなるからです。  
・色鉛筆やサインペンなど，同じ種類の物をまとめました。  
・同じ大きさや形が同じ物をそろえて置きました。しまいやすくなるからです。  
・同じ色の物をまとめました。見た目がすっきりとして見えるからです。  
・コンパスやものさし，分度器など同じ場面で使う物をまとめました。  
取り出す手間が省けるからです。)
- 指示 7
- 友達の工夫について質問や感想，改善点がある人はいますか。立って意見を言います。  
意見が出されたら，発表した人は必ず立って答えます。  
※友達の工夫を聞いて気づいたことを，今後の整理・整とんや物の使い方に生かす。

5 まとめる

- 説明 5
- 使いやすく整理・整とんする工夫は，目的によってさまざまです。友達の工夫を参考にして，家庭でみんながよく使う場所の整理・整とんを実践してみましょう。
- 指示 8
- ノートの29ページを開きます。整理した道具箱にシールを貼りなさい。  
終わったら【②考えよう】に気づいたことや工夫したことを書きます。  
※シールを貼る前に，整理・整とんの手順を再度確認し，ノートに書かれている手順を読ませる。  
※【②考えよう】が書けたら前に持ってこさせ，書いた内容に赤丸をつける。

①

使う物	使わない物
	迷う物

▲分類表 (PDF①)

②


▲仕切りの入った紙 (PDF②)

①

使う物

使わない物

まよ  
迷う物

